

平成 28 年度 多面的機能発揮促進事業中国四国農政局長優秀賞

【多面的機能支払】

おおほの
大波野環境保全隊 (田布施町)

(1) 協定農用地面積 65.13ha (田 61.83ha、畑 3.30ha)

(2) 組織構成 2 集落 (農家 76 戸、非農家 20 戸)

○ 地区の概要について

本地域は、田布施町の東端に位置し、温暖で雨量の少ない地域です。

農地と自然環境の保全、良好な景観形成を維持していくために、地域が一体となって取り組む意思確認が行われ、平成 19 年度から取組を開始し、地域コミュニティの更なる強化を図りつつ農村の保全管理を進める活動が積極的に行われています。

○ 主な取組内容について

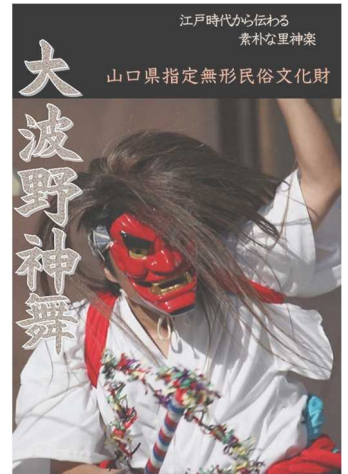
学校教育と連携し、田植えや稲刈りの体験学習を実施しています。この取組により、農地が持つ多面的機能や食の大切さを子供達に伝えています。また、小学生を対象に地域の専門家と連携したホテルの出前講座や、ホテルが生息しやすい環境づくりと生息状況調査を実施し、児童によるホテルの学習発表会が行われるなど、将来を担う子供達に農業農村の持つ重要性和その役割を伝えています。それから、魚類や両性類の生息場所や待避所を確保するために遊休農地に「ビオトープ」を設置し、小学校と連携して生きもの調査を実施しています。

また、江戸時代から地域が伝承してきた「大波野神舞」の保存にも力を傾注し、農村コミュニティの強化を図っています。

なお、その他の部門においては、山口県から下記の組織が受賞されています。

【中山間地域等直接支払】 優秀賞 木与集落協定 (阿武町)

【環境保全型農業直接支払】 最優秀賞 農事組合法人宇津木農産 (山口市)



平成 29 年 2 月 22 日 田布施町役場町長室

西本副代表

小野代表

長信町長



平成 28 年度多面的機能支払中国四国シンポジウム in 晴れの国おかやま

平成 29 年 1 月 19 日（木）、岡山コンベンションセンター（岡山市）において、「平成 28 年度多面的機能支払中国四国シンポジウム in 晴れの国おかやま」が開催されました。

このシンポジウムは、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に取り組んでいる活動組織を対象として、活動に対する理解を深めるとともに一層の定着を図るため、平成 21 年度から中国四国地域の各県持ち回りで毎年開催されており、中国四国地方を中心に約 500 名が参加。山口県からは、15 組織 53 名が参加されました。

今回のシンポジウムでは、「地域づくりにチャレンジするリーダーへのメッセージ」と題して、NPO 法人みんなの集落研究所の阿部典子主席研究員から、従来からの地域活動について、全住民を対象としたアンケート結果をもとに持続可能な活動に変え、新たな取り組みをスタートされた事例についてご講演いただきました。

また、広島県の高屋（たかや）広域協定運営委員会の畝（うね）啓一郎会長から、平成 24 年度から 7 つの集落を広域組織とし 5 年間取り組まれた成果をご報告いただきました。

それから、多面的機能支払の優良事例として本年度、中国四国農政局長表彰最優秀賞を受賞された 2 組織から、都市住民や非農家を含め農村環境保全や交流などの活動に取り組まれた事例発表がおこなわれました。

参加者からは、「広域化された事例を聴き、事務の簡素化や交付金の使途を工夫して効率的な活動をしている。広域化することのメリットを行政サイドからもはっきりアプローチしてほしい。」と話されていました。



山口市農林整備課による「多面的機能支払交付金に係る説明会(第 2 回)」

平成 29 年 1 月 27 日（金）、水土里ネット山口 5 階大会議室において、山口市農林整備課による「多面的機能支払交付金に係る説明会(第 2 回)」が開催されました。山口市内の 36 組織 約 60 名の関係者が参加され、熱心に受講されました。

今回は、「活動記録」と「金銭出納簿」を作成する際の留意点とこの 2 つの様式の相関性等。それから、実施状況報告書は、「活動記録」と「金銭出納簿」を根拠として作成する手順の説明がありました。

今まで曖昧になっていた部分を明確にし、事務処理をスムーズに行えるように実践形式での説明会であり、大変好評でした。

